

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	潮江下水処理場長寿命化整備事業		
所管部局	上下水道局	部局長名	明神 公平
所管部署	下水道施設管理課	所属長名	明神 晃
予算事業名			
予算事業科目(平成26年度)			

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け	
施策の大綱	01 共生の環
政策	03 環境汚染の防止
施策	09 生活排水対策の推進

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	下水道法, 下水道長寿命化支援制度	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画, 覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	潮江下水処理場及び潮江下水処理場内雨水ポンプ場の設備
意図	どのような状態にしていくのか	国の長寿命化支援事業制度を活用し、潮江水再生センター（下水処理場）の機能を維持しながら、ライフサイクルコストの最小化とともに施設の延命化を図る。
手段	事業実施体制等	長寿命化整備計画（5か年）を策定し、計画に基づく効率的な整備を実施。
		事業開始年度 平成24年度
		事業終了年度 -
活動内容	どのような事業活動を行うのか	長寿命化整備計画に基づく計画的な部品の取替工事等を実施する。
成果指標	事業目的の成果を測る指標	指標設定の考え方
	A 汚水設備	長寿命化計画に基づく工事の実施件数
	B 雨水設備	長寿命化計画に基づく工事の実施件数
	C	

4 事業の実績等

		23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A 汚水設備	目標		4	2	26年度は計画工事件数	
		実績		4	2		
	B 雨水設備	目標		1	1		
		実績		1	1		
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)		55,536	67,720	60,000	
		財源内訳	国費 (千円)		28,983	34,374	30,900
			県費 (千円)				
			市債 (千円)		26,500	32,900	29,100
			その他 (千円)		53	446	
			一般財源 (千円)	0	0	0	0
	翌年度への繰越額 (千円)		50,000				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	9,398	6,351	9,144	
		正規職員 (千円)	0	9,398	6,351	9,144	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)		1.27	0.87	1.27	
正規職員 (人)			1.27	0.87	1.27		
その他 (人)							
総コスト= ① + ② (千円)		0	64,934	74,071	69,144		
市民1人当たりコスト (円)		0	192	220			
年度末住民基本台帳人数 (人)		337,875	338,397	336,845			
						総コスト/年度末人口	

## 5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

・長寿命化整備を実施した設備については、故障の発生もなく機能維持ができており、信頼性が向上している。

## 6 所属長評価

評価項目		評価基準		1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	流入下水を確実に処理し、法令等の排出基準を満たす放流水質を確保して公共用水域の水質保全に寄与し、合わせて浸水防除も行なう本事業は、総合計画に定められた人の健康や生態系に深刻な影響を及ぼす水質汚濁などの環境汚染を防止するものであり、環境と安全に関するものとして需要も高い。	
		B (3) 一部結びつく				
	C (1) あまり結びつかない					
	D (0) 結びつかない					
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A				
	B (3) 横ばいである					
	C (1) 少ない、減少している					
	D (0) ほとんどない					
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	本事業で整備した設備は、延命化されると共に必要な機能を維持しており、排水基準を満たす放流水質を確保できている。また、浸水被害の発生もない。計画最終年度まで事業を継続する。	
		B (3) 概ね達成している				
	C (1) あまり順調ではない					
	D (0) 十分な成果を望めない					
④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A				
	B (3) 概ね妥当である					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 見直しが必要である					
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	維持管理及び工事設計・施工管理は、直営で行ってきたことで知識及び技術の蓄積と継承がなされてきた。今後予想される災害の復旧においても、職員の経験が不可欠なことから、現状の事業継続が望ましい。優先度による整備対象設備の選択と、整備内容の精査によって効率的に事業を実施している。	
		B (3) 行政主体が望ましい				
	C (1) 検討の余地はある					
	D (0) 十分可能である					
⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A				
	B (3) 概ね効率的にできている					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 十分可能である					
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	本事業は、「雨水公費、汚水私費の原則」に基づき実施しており、公平性ととも負担割合も適正である。	
		B (3) 概ね保たれている				
	C (1) 偏っている					
	D (0) 公平性を欠いている					
⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A				
	B (3) 概ね適正な負担割合である					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 検討すべきである					
総合点	20.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

## 7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	所属長評価のとおり
B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

## 8 特記事項

--